

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2019.03.No259

3月号

目次

| | |
|--------------------------------|---|
| 平成30年北海道胆振東部地震の被害と道総研建築研究本部の対応 | 1 |
| 平成30年度 高校生建築デザインコンクール入選作品発表 | 4 |
| 実行委員会報告 | 6 |
| Coffee Break | 7 |
| information | 8 |

URL <http://www.h-ab.com/>

平成30年北海道胆振東部地震の被害と道総研建築研究本部の対応



地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 建築研究本部 北方建築総合研究所
地域研究部 環境防災グループ 研究主幹 戸松 誠

1. 地震の発生と初動対応

平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震は、北海道で初めてとなる震度7を記録し大きな物的被害をもたらすとともに、大規模な停電が発生し、社会的な混乱をもたらしました。平成31年1月末の時点で住家の被害は全壊が462棟、半壊1570棟、一部損壊12600棟に達し、震災により尊い命を落とされた方が42名にも及んでいます。

この地震に対し、道総研建築研究本部では、被害の拡大を防ぎ、被災地の復旧・復興に役立つよう、様々な取組を進めています。ここでは災害対応時間により①緊急対応ステージ、②復旧対応ステージ、③復興対応ステージに分けてその対応を報告します。

2. 緊急対応ステージ

地震の発生時には、仙台で日本建築学会大会が開催されており、職員の多くが北海道にいない状況でした。迅速に地震に対応するため建築研究本部では、建築性能試験センター札幌オフィスに現地対策室を設置し、職員の帰道、情報収集、関係部署との調整といった対応を開始いたしました。建築研究本部は、これまで道建設部と連携し応急危険度判定活動に取り組んでおり、今回の地震でもその対応が必要と判断されたことから、翌7日には6名の職員が厚真町、安平町、むかわ町などにおいて道建設部と合同で初動調査を行い、その結果を受け判定活動の実施が決定され、8日～9日の応急危険度判定活動に判定士2名を派遣しました。

一方、それと前後して、国立研究開発法人建築研究所から合同調査の申し入れがあり、9月11日に厚真町、安平町、むかわ町（以下、「胆振管内3町」という。）において、9月18日には札幌市清田区に

おいて、被害調査を実施しました。胆振管内3町では、地震計が設置された地域周辺の建物被害の外観調査を、札幌市清田区では、液状化による被害が大きかった基礎の立ち上がり部分の傾斜と上部構造の被害に関して悉皆調査を実施しました。その結果をとりまとめ、参加機関連名による調査報告書として公表しました。

(<http://www.hro.or.jp/list/building/index.html>)

当該調査の結果から明らかになった点の概要は以下に記します。

○胆振管内3町の調査結果概要

- ・建築物の倒壊は、震度6強を記録したむかわ町役場付近の比較的古い店舗併用住宅に集中していました。倒壊を免れた比較的古い店舗併用住宅でも大きな残留変形が残るなど、大きな被害を受けたものが多く確認されました。
- ・震度7を記録した厚真町鹿沼の地震計は、大きな地割れが発生した地点にありました。その地割れの延長線上に建つ学校建築物は大きな被害を受けましたが、周囲の平屋の木造建築物は無被害か軽微な被害に留まっていました。
- ・震度6強を記録した厚真町京町付近では建築物の被害が確認されませんでした。
- ・安平町早来大町の市街地では、外壁を組積造とし、床組、小屋組を木造とした比較的古い建築物が層崩壊を含む大きな被害を受けていました。比較的古い店舗併用住宅は外壁の脱落など大きな被害を受けた例も散見されましたが、専用住宅の被害は概して軽微でした。
- ・安平町安平、同町追分の市街地では、比較的古い建築物が外壁脱落などの被害を受けましたが、被害を受けた建築物の数、及びそれらの被害の程度

ともに小さいものでした。

○札幌市清田区の調査結果

- ・顕著な地盤沈下の有無が住宅の基礎の傾斜に強く影響した可能性が示唆されました。
- ・住宅基礎の傾斜方向は、地盤沈下により地表面が傾斜した方向と概ね対応しています。
- ・住宅の基礎の傾斜が大きくなると基礎の損傷被害も大きくなる傾向が示唆されました。
- ・上部構造の損傷被害にも顕著な地盤沈下が少なからず影響した可能性が示唆されました。



写真1 倒壊した店舗併用住宅



写真2 柱脚部の腐朽

これらの調査結果を踏まえ、道総研建築研究本部では、被災地の建物復旧に資するべく新規重点研究「北海道想定地震に対応した住宅等の復旧・耐震改修技術の開発」を平成31年度から実施することとなりました。この研究では北海道内の建物の耐震性を高める技術開発と、効果的な耐震改修の進め方について検討する予定です。また、研究成果は被災地を含めた道内自治体や民間事業者が、広く活用できるよう進めます。

3. 復旧対応ステージ

緊急対応ステージの対応を実施しながら、復旧期における対応についても検討を進めました。

9月14日には、北海道建設部住宅局との住宅復旧に関する打ち合わせにより、住宅復旧・再建支援連絡会議を設置し、胆振管内3町において住民を対象にした「住宅の復旧・再建に向けた無料相談会」(図1)を10月17日から14日間開催しました。この相談会では、北海道建築士会や関係団体の関係者が相談員として対応しました。

応急仮設住宅については、東日本大震災による経験を踏まえ、平成24年度から25年度に北海道建設部と建築研究本部が実施した「大規模自然災害における応急仮設住宅の供給・建設に関する調査研究」において北海道型の仕様を成果として確立していました。震災発生直後からこの成果を活かして関係団体などと協議し、次に示す3つの特徴を持った「北海道型応急仮設住宅」の建設が始まりました。

- ①高い断熱性能(表1)
- ②24時間換気装置の装備
- ③温度と湿度の見える化

表1 北海道型仮設住宅の断熱仕様

| 部位 | 断熱仕様 |
|----------|---|
| 外壁 | 金属製ウレタン断熱パネル42mm+高性能GW16K-50mm+防湿フィルム0.2mm |
| 床 | 木質床パネルにXPS-3b 70mmを組み込み+防湿フィルム0.2mm |
| 天井 | 高性能GW24K-100mm+100mm or 吹き込みGW-200mm+防湿フィルム0.2mm |
| サッシ | 外窓：アルミサッシ(単板ガラス) 内窓：樹脂サッシ(複層ガラス) U=2.33 (W/(m ² ·K)) 以下 |
| 玄関 ドア | 扉：断熱材充填フラッシュ構造 縁辺部等：熱遮断構造 U=2.33 (W/(m ² ·K)) 以下 風除室を設置 |

応急仮設住宅は、9月25日に着工した第1期が130戸、第2期78戸が共に1ヶ月強の工期で建設されました。

建設の際には北海道の寒冷地仕様の住宅建設に不慣れな現場代理人や施工業者に対して、延べ45人・日に上る技術指導を実施しました(表2)。

建設後は、定期的に応急仮設住宅の室内及び小屋裏、床下に設置した温湿度ロガーのデータ収集、解析や、各町の役場への訪問、入居者支援協議会への参加、入居者への換気装置の使い方指導などを行なっています。

また、応急仮設住宅という限られた条件下の中で快適な生活を送るために冊子「応急仮設住宅での暮らしを快適にするために(図2)」及び「応急仮設住宅での暮らしを快適にするために 自治体・事業者向け」を発行し、自治体及び入居者へ配布しました。この資料は道総研建築研究本部のホームページで閲覧することができます。

(<http://www.hro.or.jp/list/building/koho/press1/181228.html>)

表2 応急仮設住宅現場における技術指導内容

| 指導項目 | 内 容 | 効 果 |
|-----------------|--|-----------------------------|
| 断熱・気密の施工方法 | ・外壁周り及び界壁の気流止め ・界壁や開口部周りの先張り防湿フィルム施工 ・天井防湿フィルムの貼り方向を下地方向とする。 | 隙間風防止、結露防止、断熱性能確保、快適性向上 |
| 給水管の凍結防止ヒーターの仕様 | ・給水管の凍結防止ヒーターの容量計算 | 凍結防止ヒーターの容量の過大化防止 |
| 暖房機の仕様 | ・暖房機の必要容量計算 | 暖房機の容量過大化の防止 |
| 簡易基礎断熱工法（写真3） | ・基礎周りへの断熱材施工 | 床下の温度上昇による水道凍結防止、ヒーターの電気代節約 |
| 小屋裏換気の換気量適正化 | ・第2種機械換気導入 ・換気装置選定、換気量の設定 | つららの発生・すが漏れ防止、小屋裏結露の防止 |
| 室内換気の換気量適正化 | ・機種選定 ・設置後の風量測定と換気量調整 | 室内及び風除室の結露防止 |

平成30年北海道胆振東部地震
住宅の復旧・再建 に向けた
無料相談会

胆振東部地震で住宅の被害にあわれた方を対象に、建築士など専門家による無料相談会を実施します。

【こんなご相談に専門家が個別にアドバイスします】

- 被害にあった住宅に住んでいても大丈夫か心配だ
- 調査や補修をどこに頼めばよいかわからない
- どのような補修、改修を必要とするのかわからない
- 補修費用の目安を知りたい
- 補修費用などに対する資金の融資について知りたい

□ 会場・開催日 (●:開催日)

| 市町村 | 会場 | 開催日(10月) | | | | | | | | | | | | | |
|------|------------------------------|----------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| 厚真町 | 厚真町総合福祉センター 第一会議室 | ● | | | | | | | | | | | | | |
| 安平町 | 早来総合庁舎 2階大会議室 | | | | | | | | | | | | | | |
| むかわ町 | 遠分総合支所(ぬくもりセンター) 多目的情報ホール | | | | | | | | | | | | | | |
| | むかわ町産業会館 1階ロビー | | | | | | | | | | | | | | |
| むかわ町 | 徳別町民センター 1階コミュニティルームB | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |

□ 受付時間 : 午後1時～午後4時まで
※相談時間は、お一人様30分程度を目安とさせていただきます。

□ お願い
・住宅の図面や被害状況が分かる写真(スマホも可)を持参していただくと、より適切なアドバイスができます。
・事前にご予約された方を優先させていただきます(ご予約のない場合、お待ちいただくか、詳細な相談ができない場合があります。あらかじめご了承ください)。
※無料相談後の業者による、現地調査、見積・補修は有料となります。

【お問合せ/予約先】 北海道建設部建築指導課建築企画グループ TEL011-204-5577 (平日9時～17時)

【主催】 平成30年北海道胆振東部地震 住宅復旧・再建支援連絡会議
北海道 / (一社)北海道建築技術協会 / (一社)北海道建築士会 / (一社)北海道建築士事務所協会
(一財)北海道建築指導センター / (一社)北海道ビルダース協会 / (一社)北海道空調衛生工業業協会
(独)住宅金融支援機構北海道支店 / (地独)北海道立総合研究機構建築研究本部

※(一財)北海道建築指導センターでは、住宅全般に関する電話相談窓口(無料)を設置しています。こちらをご利用ください(Tel011-222-6070)。

図1 相談会の実施内容



写真3 簡易基礎断熱工法の導入

北海道立総合研究機構 応急仮設住宅での暮らしを快適にするために

NO.5 室内の窓のあたりの結露を減らすには

トイレ、浴室、台所の換気扇を使って室内の湿度を下げます。

①室内の結露のもと
室内では、人の体から4人で1時間あたりコップ1杯程度の水分、洗濯や入浴などの行為も合わせると、4人家族で1日10L程度も発生します。気密化した住宅では、この水分が室内にこもり、温度の低い窓などで結露します。結露を減らすためには、換気をして水分を排出します。

②換気扇の運用
トイレの換気扇
・相対湿度が50%を超えるときは“強”で運転
浴室の換気扇
・入浴後には運転
・トイレ“強”運転でも相対湿度50%を超えるときは運転
台所の換気扇
・煮炊きをするときには運転

| 換気扇 | 消費電力 | 電気代* |
|--------|----------|------------|
| トイレ“弱” | 3.5～5.8W | 2.3～3.8円/日 |
| トイレ“強” | 7.2～13W | 4.7～8.5円/日 |
| 浴室 | 7.2～8.8W | 4.7～5.7円/日 |

※27円/kwhで計算

図2 仮設住宅の暮らし改善の資料

4. 復興ステージの対応

復旧ステージの活動を進めながら、復興ステージにおける支援活動も始めています。これまで、蓄積してきた「まちづくり」の知見や建築都市データベースを活用し、今後発生が予想される自然災害に対して事前に対応する「事前復興計画」の考え方を取り入れ、被災地の復興計画の策定支援に取り組んでいます。

5. おわりに

道総研建築研究本部では、地震発生直後から様々な取り組みを実施しています。今回の地震をきっかけに、北海道内では防災意識の高まりが見られます。北海道建築士会の皆様におかれましては、安全・安心な建築・まちづくりに、益々ご尽力いただくとともに、今後とも道総研建築研究本部の活動にご理解・ご協力をお願いいたします。

最後になりますが、この度の地震災害にて被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

平成30年度 高校生建築デザインコンクール入選作品発表

課題 「北海道立十勝エコロジーパーク内の屋外トイレ」

音更町十勝川温泉に隣接する「北海道立十勝エコロジーパーク」内の「ふわふわドーム」の施設利用者が主に利用する屋外トイレを設計してください。

「高校生建築デザインコンクール」は、次世代を担う建築系高校生の「建築」に対する関心をより高めることを目的に、北海道が平成8年より実施しており、道内建築系学科の高校生から夢のあるユニークなデザインを募集して、毎年開催されています。北海道・日本建築家協会北海道支部・北海道建築士事務所協会・北海道建築士会が共催し、今回で23回目の開催となります。今年度は、音更町十勝川温泉に隣接する「北海道立十勝エコロジーパーク」内の「屋外トイレ」を設計課題として募集したところ、昨年を上回る8校173名から111作品の応募がありました。

この111作品については、9月10日に選定委員会が開催され、厳正な審査の上、最優秀作品1作品、優秀作品3作品、

佳作4作品、特別賞2作品を選定いたしました。

最優秀作品賞は、フワフワドームを想像させる適度なデザインであり、トップライトによる採光など、機能性も考慮され、建築的に完成度が高くバランスのとれた作品であった、「フワフワトイレ」北海道苫小牧工業高等学校 鈴木達也さん、板垣謙典さん、松芳大輔さんが受賞されました。なお、最優秀作品賞のデザインについては、現在計画中の設計に反映されるということもあって、自分のアイデアが現実の建物になっていく喜びをきっと感じていただけるものと思われます。

高校生建築デザインコンクール選定委員
針ヶ谷拓己（札幌支部）

最優秀
作品賞

フワフワトイレ

北海道苫小牧工業高等学校
鈴木 達也（1年）
板垣 謙典（1年）
松芳 大輔（1年）

□設計趣旨

このトイレの一番の特徴は曲面を多用した「かたち」です。近接するドームやシェルターにマッチするよう、雲のような柔らかな印象を与えるデザインとしました。そして小さな子どもたちが利用する施設であることから、乳白色ガラスのトップライトからたくさんの光を取り込むことで室内を明るくし、ひとりでも怖がらずに利用してもらえるようにしました。また、出入口を一か所に集約することで、冬はシャッター1つで閉鎖できるよう管理面にも配慮しました。

□審査講評

ふわふわドームと関連したデザインを上手に昇華させており、建築的に完成度が高い作品である。トップライトによる採光を含め、実現性が高く、平面プランがうまくまとめられた提案が高く評価された。

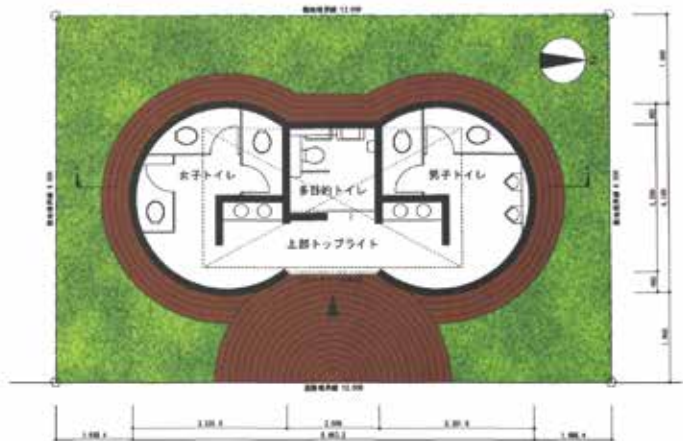


フワフワトイレ

このトイレの一番の特徴は曲面を多用した「かたち」です。近接するドームやシェルターにマッチするよう、雲のような柔らかな印象を与えるデザインとしました。そして小さな子どもたちが利用する施設であることから、乳白色ガラスのトップライトからたくさんの光を取り込むことで室内を明るくし、ひとりでも怖がらずに利用してもらえるようにしました。また、出入口を一か所に集約することで、冬はシャッター1つで閉鎖できるよう管理面にも配慮しました。

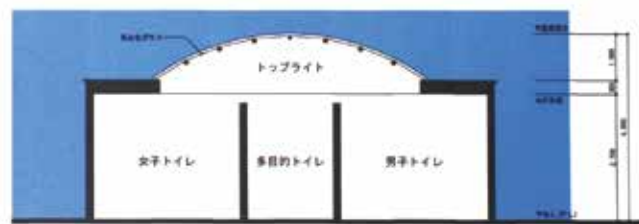


実例立透視 S=1:50



配置図 東 平面図 S=1:50

延べ面積 29.38㎡



A-A'断面図 S=1:50

優秀作品賞

北海道留萌高等学校
笹森 亜久里 (3年)

la natural

設計趣旨

今回のトイレを計画する場所が自然の中なので、木と木の間の空間に建築を溶け込ませたいと考え、ルーバーを採用しました。通路側の外壁には外から中が見えにくいように配慮しつつ、室内には木漏れ日のようにやわらかく光を取り入れることができます。

また、ルーバーを壁のように延長することで、連続性を持たせ森の中のランドスケープとしてもデザインをしました。

トイレは、男子・女子・多目的トイレの三つに分かれており、多目的トイレは、広くすることで車椅子の方でも利用しやすいようにしました。施設を利用する人たちにとって、風景の一部として利用できるようなトイレになっています。

審査講評

森にマッチした美しいデザインであり、ルーバーを使った外部デザインとすっきりまとまった平面プランが評価された。



優秀作品賞

北海道苫小牧工業高等学校
鈴木 大夢 (3年)
志渡 智紀 (3年)
田村 陵丞 (3年)

One for two

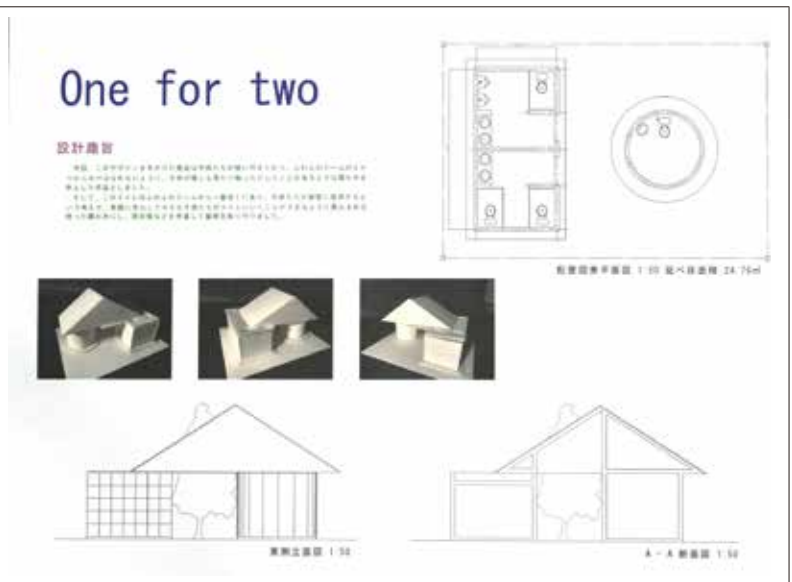
設計趣旨

今回、このデザインを手がけた理由は子供たちが使いやすいかつ、ふわふわドームのイメージからかけはなれないように、子供が誰も見たり触ったりしたことがあるような積み木を形とした作品としました。

そして、このトイレはふわふわドームから一番近くにあり、子供たちが頻繁に使用するという考えで、気軽に安心して小さな子供たちがトイレに行くことができるように異なる形を持った積み木にし、両対策などを考慮して屋根を取り付けました。

審査講評

積み木の丸、三角、四角というプライマリーな形をトイレの設計に上手にいかしており、ユニークなデザインが評価された。



優秀作品賞

北海道苫小牧工業高等学校
坂本 透哉 (3年)

自然に調和した格子型公衆トイレ

設計趣旨

今回の設計コンセプトでは、自然の公衆トイレで自然とマッチする部分です。そこで、単純なブロック造ではなく、壁面及び天井部分に可能な限りの芝や葉を敷き詰めた1m×1mブロックにして景観を壊さないようにしました。このほかの役割としては、トイレ室内の温度上昇を防ぐ目的です。また、その他にも工夫がしてあり、トイレ室内からの採光はすべて天井からの自然を感じる採光にしました。他にもアプローチ部分には藤棚を想像させるような格子状のアーケードを設け植物の育成が可能となっています。このようにこのトイレには「自然を大切に」という設計主旨を考えた新たな調和型公衆トイレとしています。

審査講評

自然との調和を、建築的に格子を用いながら美しく表現し、ホールを中心とした平面展開が評価された。



平成30年度の事業

ヘリテージマネージャー特別委員会 委員長 関川 修 司 (北広島支部)



平成30年度、残念ながらヘリテージマネージャー講座はできなかった。理由は、補助金が不採択になったためである。建築士会としては単独でも行おうとしたが、構成団体（(一社)北海道文化財保護協会、NPO法人歴史的地域資産研究機構）と協議の結果、講座開催は見送った。しかし、次の4事業は行うことができた。

①6月2日 「ヘリテージマネージャー概論一沢田伸講師」

登録文化財制度を推進してきた兵庫建築士会の大先達。最近のヘリテージマネージャーの状況を話して貰った。中でも「文化財保護法及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律案の概要」には大いに関心を持った。

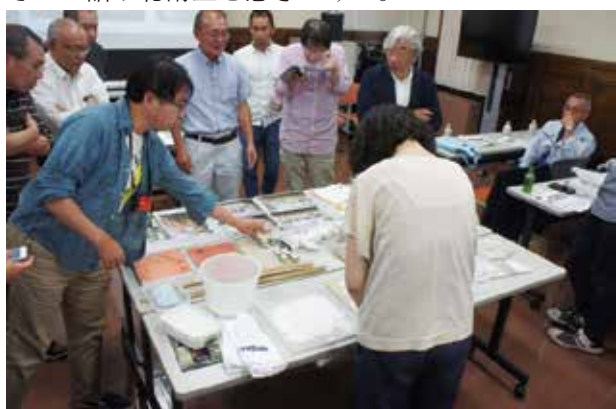


講演風景

②8月18日 「札幌資料館保存活用の変遷と支える技術」

3月に「図面からみる札幌控訴院」を開きに行った。警察署、裁判所などは用途廃止になっても、その図面すら見せることが珍しい。札幌控訴院・現札幌資料館に携わった一人渡辺氏を講師に頼んだ。

中でも「支える技術を取り巻く動き」「伝統的建築技法の現場から」では、石工の人たちと漆喰職人さんの話が聴講生を惹きつけた。



聴講生を惹きつけた漆喰職人さんの話

③7月15日 「古平町役場とお寺とお祭り見学」

古平町・美国町には「天狗の火渡り」がある。北海道では、この2ヶ所で見られない行事である。天狗の火渡りと言うが、神社の祭りである。祭りの

最後に神輿、天狗が、燃えさかる炎の上を歩く。「圧巻」の一語に尽きる。また、この町には、5百羅漢の油絵を祀る禅源寺というお寺もある。建築職にとってはその奇抜な入り方をする役場庁舎もある。

昭和2年（1927）、鉄筋コンクリート造の建物である。寄る年波には勝てない、近々建て直しが決まっている。今の姿はいつまで見られるだろうか。



古平町役場

④9月1・2日 「羽幌町江野邸調査」



羽幌町江野邸

道北で見つけた登録文化財候補の邸宅である。1間幅の縁側がある、硝子障子が入るがその硝子障子が繋いである。ここで始めてみた。昨年、京都大会のエクスカージョンで見た住宅の窓にもあった。ガラスの普及過程には見られたと言うのか。



実測する参加者

この邸宅調査で、参加者の方から意外なことを聞いた。「調査そのものを、皆に声を掛け、皆で調査をしたら!」。期待はしていたが……。ここは道北、道東、道南、道央、仕掛けていきたい。

平成31年度 (一社)北海道建築士会会員作品の募集

応募対象

- ①対象建物 平成27年以降に竣工し、検査済証の交付を受けた建物で、その用途、規模等は問いません。ただし、確認申請を要しない建物は、検査済証は不要です。
- ②対象者 本会の正会員（応募建物の設計、及び施工管理者等、責任ある立場で建築に携わった者に限ります）
- ③応募作品 1人若しくは1グループで1点とします。

所有者等の了解

予め所有者、管理者等の了解を得てください。

応募締切

平成31年5月17日(金) 必着

応募資料

- ①申込書 所定の申込書を本会HPからダウンロードして記入してください。
- ②提出資料 図面（平面図・断面図・配置図等）及び完成写真（内・外装）等の画像データ3点と上記申込書を、CD-ROMに記録して提出してください。（応募作品は返却しません）

作品掲載

応募作品のすべては、本会ホームページに掲載します。また、その中から4点程度を選考し「北海道建築士No.265」に掲載します。※詳細は、北海道建築士会HPをご覧ください。



昨年の作品

後志支部

ニセコグローバルな建築と食の探訪

企画委員長
三浦 寛



昨年の7月1日の建築士の日の事業は「ニセコグローバルな建築と食の探訪」と題した活動でした。リゾート地に暮らす建築士としてグローバルな建築と食、そして、ローカルな建築を知るという企画です。

ニセコエリアでは、外資によるリゾート施設の建設が盛んに行われています。デザインも外国人目線の和風のなものも多くみられます。また、食に関してもおしゃれなレストランが増え、味も本格派のところが増えていきます。トップシーズンになるとここが日本な

かといった景色が展開されています。地元に住んでいてもなかなか足を踏み入れることがありません。リゾート地に暮らしながら、リゾート体験をしていないのも勿体無いことです。また、建設中の建物や完成間近の建物を見学することも滅多にできませんので、建築士の日に因んで建築と食の両方を堪能することにしました。

見学したグローバルな建物は、今シーズンオープンしたひらふ坂の終点に位置する完成間近のコンドミニアムホテルの「スカイニセコ」と花園地区に建設中の「パークハイアットニセコ」のホテルと2棟のレジデンス。分譲価格は1戸1億5千万円から5億円とか。まだ、鉄骨建方や基礎工事中で豪



建設中のパークハイアットニセコの見学

華さはまだ感じられませんでした。ローカルな建物として支部のメンバーが建設中の「くっちゃん型住宅」を見学。施主は、外国の方だそうです。

食は、シャレーアイビーで地元食材を使った和食のフルコース。満足した建築士の日でした。

東西アスファルト事業協同組合 組合員紹介



株式会社 札幌 三星
apporomitsuboshi co., ltd. (札幌市西区)

代表取締役
大田 雄一



弊社は平成12年に三星産業株式会社 札幌営業所の閉鎖に伴い、事業継承と共に株式会社札幌三星を設立致しました。設立してから

現在に至るまで数多くの公共建築物や民間マンション等の大規模修繕工事や各種改修工事を行っております。そのひとつひとつの工事は「防水技術をもって信頼を得る」の理念のもと、今まで培って参りました防水の技術・経験を生かした提案・施工をしております。弊社はこれからもお客様のご要望にお答えし、満足して頂ける工事を心がけ、末永いお付き合いができますよう日々取り組んで参ります。また、北海道建築士会様の日常業務の一助となれましたら幸いです。社員8名（うち、一級建築施工管理技士1名、二級建築施工管理技士4名）／技能員30名（アスファルト防水、塗膜・塗布防水、シート防水、FRP防水、防触・塗床・塗装工事、止水・注入工事）

TEL：011-618-3255

株式会社 総合防水工事

(札幌市北区)

代表取締役
原田 美佐子



弊社は、昭和48年の創業以来、建物の新築・改修問わず防水工事を中心に実績を築いてまいりました。これまでに蓄積

した技術に裏付けされた豊富な現場経験と実績を財産として、より信頼して頂ける企業を目指しております。

弊社の最大の強みは、何事も「小さなことからコツコツ」積み上げていく事です。防水工事に於いて、施工基準書に遵守し防水施工する。当たり前のことですが、基本を忠実にやる事が安定した品質を得る為に最も重要な事と考えております。防水工事に関わる納まり図の作成、工程管理に於ける写真整理などソフト面のサービスも充実しております。防水品質とより良いサービスの提供が皆様、ひいては社会への貢献になると考えております。

TEL：011-771-8834

平成31年 一般社団法人北海道建築士会 定時総会について

平成31年 定時総会 代議員により開催します

開催日：平成31年3月22日(金) 会場：ホテル 札幌ガーデンパレス 時間：14：30～17：00

平成31年 定時総会 意見交換会 一般会員のみなさまも意見交換会懇親会への参加ができます

開催日：平成31年3月22日(金) 会場：ホテル 札幌ガーデンパレス 時間：17：30～19：30

会費：5,000円(当日会場で申し受けます) 申込み締切：3月14日(木)まで

※懇親会への参加ご希望の方は、(一社)北海道建築士会本部事務局(011-251-6076)へお問合せください。

道士会の動き

道本部の主な会議報告(2月)

◆第9回全国大会実行委員会

(開催日) 2月16日(土)

(議題) 1) 北海道大会実施計画(各行事詳細計画)

◆第7回ありかた検討委員会

(開催日) 2月18日(月)

(議題) 1) 北海道建築士会ありかた検討会議中間報告

◆第1回女性委員会

(開催日) 2月23日(土)

(議題) 1) 平成31年女性委員会活動計画・予算

道本部の主な行事予定(3月)

2日(土) 第2回四役会議

4日(月) 専攻建築士審査評議会

11日(月) 第1回理事会

16日(土) 第1回まちづくり委員会

16日(土) 第1回被災地応急支援委員会

16日(土) まちづくり会議

22日(金) 定時総会

30日(土) 全道青年委員会連絡会議

関係機関等会議参加予定(3月)

4日(月) 建築技術教育普及センター理事会

7日(木) 日本建築士会連合会正副会長会議

13日(水) CPD専攻建築士制度委員会

20日(水) 日本建築士会連合会理事会

25日(月) 専攻建築士認定評議会

上記すべて高野会長出席

編集後記

私が所属する日高支部では、昨年、北海道胆振東部地震により、日高町で震度6弱を記録するなど、甚大な被害が発生していた状況をふまえ、例年開催していた親睦交流事業を中止し、急遽、精鋭を募り、9月17日に震源地の厚真町でボランティア活動を行いました。たくさんの思い出の詰まった品々が一夜にして、手放さざるをえないものとなった事実を目の当たりにした時、『断捨離』という思想も防災の一助となるのではないかと感じました。 情報委員会 森 勝利(日高支部)

実務に役立つ建築法規解説2018 販売のご案内

平成31年1月～2月に開催の第52回建築基準法講習会で使用しましたテキストを販売いたします。

販売予定数に達した時点で終了となりますので、お早めにお求めください。



実務に役立つ 建築法規解説2018

編集＝全道建築行政連絡会議

第52回 建築基準法講習会テキスト

◎A5判 ◎定価：3,500円

※送付希望の方へは書籍を、送料着払で発送しておりますので、FAXにてお申してください。なお、請求書は別途郵送いたします。

(申込用紙は北海道建築士会のホームページからダウンロードできます。)

【図書問合せ先】(一社)北海道建築士会 011-251-6076

CPD認定プログラム(2月認定)

◆改正建築士業務報酬基準説明会

《日程及び会場》3月14日(木) 14：00～16：00

かでの2・7 520研修室(札幌市他5会場)

《単位数》 各会場2単位

◆平成31年全道青年委員会研修会

《日程及び会場》3月30日(土) 14：40～16：10

かでの2・7 1060会議室(札幌市)

《単位数》 2単位

《上記問合せ先》(一社)北海道建築士会 Tel. 011-251-6076

講習会のご案内(3月開催)

建築士定期講習

6日(水) 北斗市 7日(木) 札幌市

監理技術者講習

13日(水) 札幌市 14日(木) 函館市

改正建築士業務報酬基準説明会

1日(金) 帯広市 6日(水) 釧路市 7日(木) 旭川市・北見市

13日(水) 北斗市 14日(木) 札幌市

情報委員会委員長／斎藤 勝哉
副委員長／早川 陽子・森 勝利・前田 繁
委員／熊谷 智・柏倉 晶憲
村山 賢司・片岡 哲二

北海道建築士 No.259号

印刷 平成31年2月／発行 平成31年3月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会

〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地 大五ビル

電話 (011) 251-6076番

URL <http://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎

〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目

電話 (011) 811-7151番